

第44回全国障害者技能競技大会

< 1 0 7 > 義肢 事前公表課題

1 課 題

「4 注意事項」及び「5 仕様」に従い、与えられた陽性モデル及び材料を用い、下腿義足（PTB式）ソケットを製作しなさい。

2 競技時間

標準時間	4時間 15分
打切り時間	4時間 45分

3 禁止事項

- (1) 競技時間中に他人から指導や助言を受けてはならない。
- (2) 他の選手やスタッフの妨害をしてはならない。
- (3) 競技時間に遅刻すること及び競技時間中に許可なく席を離れてはならない。
- (4) 故意に備品や機材等を毀損させてはならない。
- (5) 定められた競技時間・競技エリア以外で課題を実施してはならない。
- (6) 競技中に、工具等の貸し借りをしてはならない。
- (7) メモしたものや参考書等を競技中に参照してはならない。
- (8) 競技中に、スマートフォン等の通信機器（電卓機能の使用を含む）を使用してはならない。
- (9) その他、大会運営や競技実施に支障を来す恐れがある行為等をしてはならない。

4 注意事項

- (1) 競技前に、スマートフォン等の電子機器の電源を切り、かばんの中等にしまうこと。
- (2) 支給された材料の品名、数量等が「6 支給材料」のとおりであることを確認すること。
- (3) 支給材料は原則として交換しない。ただし、競技者の責によらない不具合等であれば交換は認める。
- (4) 競技開始後は、原則として支給材料の再支給をしない。
- (5) 使用工具等は、7、8で指定したものに限る。
- (6) 競技が終了したら競技委員に申し出ること。
- (7) 作業時の服装等は、安全性、かつ作業に適したものとすること。
- (8) 標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点される。

5 仕 様

5-1 下腿義足（P T B式）ソケットの製作

- (1) 陽性モデルの8ヶ所の除圧部（腓骨頭、腓骨端、脛骨粗面、脛骨稜、脛骨外顆、脛骨端及び両側のハムストリングス）に、リリース（牛革）を貼り付けること。この場合、2ヶ所以上の除圧部を1枚の革で貼ってもよいこと。
ただし、上記以外の場所への革の貼付けは行わないこと。
- (2) 陽性モデルに貼りつける軟ソケット用のスポンジは、5枚以上に分割して貼ること。
- (3) 陽性モデルにかぶせるストッキネットは4枚、テトロンフェルトは2枚とすること。
- (4) 積層加工は、真空ポンプを使って作業を行うこと。
- (5) 積層加工用樹脂は、アクリル樹脂を用いるものとし、アクリル樹脂は、硬性80%：軟性20%が、あらかじめ配合されているものを使用する。なお、硬化剤の使用量は、アクリル樹脂に対して約3%程度とすること。
- (6) 製作した下腿義足（P T B式）ソケットの上縁及び軟ソケットを適切なトリミングをすること。
- (7) ソケットのトリムラインを設定する際に用いた MPT ライン及び基準線は消さずに残しておくこと。

5-2 ギボシの下腿義足（P T B式）ソケットへの取付け

前項5-1で製作した下腿義足（P T B式）ソケットにカフベルト用ギボシを取付ける。

6 支給材料（1人あたりの数量）

品 名	寸法又は規格（単位mm）	数 量	備 考
陽性モデル		1	完全乾燥したもの
牛革	3×230×230	1	リリース用
ビニルレザー	0.7×400×400	1	
スポンジゴム	3×400×400	1	黄色のウレタンスポンジ
P V Aフィルム筒	#6000	2本	支給モデルに適切な大きさのもの
P V Aフィルム	#6000、200×200	1枚	P V Aフィルム筒のふた用
アクリル樹脂	硬性及び軟性	必要量	混合済
硬化剤	アクリル樹脂用	必要量	
ストッキネット	70×3000	1	
テトロンフェルト	400×400	2	
ギボシ		2	義肢用

7 競技者が持参するもの

品 名	寸法又は規格(単位mm)	数 量	備 考
裁ちばさみ		1	
裁革刃		1	カッターナイフでも可
ドライバー	＋、－	適宜	
ハーネスクランプ		5	義肢用クリップ
たがね等		1	ソケットせっこう割出し用
ハンマ		1	金工用
樹脂ハンマ		1	ゴムハンマでも可
角度計		1	
ギブスカッター		1	
ヒートガン		1	
チョーク又は鉛筆		1	スポンジゴムに転写できる類のもの
千枚通し		1	又はこれに類するもの
パイプホルダー		1	
油粘土		適宜	ソケット安定支持用
センタポンチ		1	
スケール	300 mm程度	1	
巻尺	1500 mm程度	1	
カッティングマット (ビニール板) 等		1	皮革裁断時の作業台養生用(ハサミ使用の場合は不要)
新聞紙 等		適宜	接着剤塗布時の作業台養生用

※ (競技者が持参するものについての注意事項)

競技者は、独自の機材の持参を希望する場合は、事前に持参リストを主催者に提出し、主催者の承認を得なければならない。主催者は、競技者に対し、著しく有利になるとと思われる道具を使用することを認めない場合がある。

8 競技会場に準備されているもの（1人あたりの数量）

区 分	名 称	寸法又は規格 (単位mm)	数 量	備 考
設 備	作業台	作業に支障のない程度	1台	
	カービングマシン又はサンディングマシン		2人あたり1台	
	万力		1個	作業台に取り付けてあるもの
機 械	電動ドリル		2人あたり1台	ドリル(3.2mm、4.0mm、各2本付)
	ミシン		2人あたり1台	
	真空ポンプ		1台	
用具等	台ばかり	1kg用	2人あたり1台	樹脂用
	紙コップ	大(500ml程度)	1個	樹脂用
	PVAフィルム用接着剤		必要量	
	タルク		必要量	
	アセトン		1人あたり500cc	
	直尺	300mm程度	1本	
	巻尺	1500mm程度	1個	
	ビニールテープ		1巻	
	研磨紙		1枚	
	ひも(丸うち)	φ3mm 長さ600mm	1本	
	タオル		1本	
	接着剤	150g程度	1本	スポンジ接着用へら、はけ付き
	ガラス板	150mm×150mm程度	1枚	
	割箸			樹脂かくはん用
	麻糸		必要量	

(注) 数に特段の明記がなければ競技者1人あたりの数量を示している。